



本村幼稚園 6月の園だより

令和元年5月31日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

遊 び こ そ 学 び

園長 山村 登洋

5月25日(土)の令和初の幼稚園・小学校合同運動会には、大勢の保護者の皆様、地域の皆様にご来園いただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで園児たちが元気いっぱい演技・競技することができました。改めてお礼申し上げます。5月としては記録的な暑さの中で無事に終えることができました。

子供たちへの保護者の皆様のサポートがあったからと感謝を申し上げます。園児たちも日頃の練習の成果を思う存分に発揮し、参観していただいた皆様から万来の拍手をいただき充実感に浸れた運動会になりました。



「パプリカ」の演技途中に電源が落ちてしまい、演技曲が聞こえなくなるアクシデントがありました。子供たちは最後まで踊ることができました。音が切れてしまって一番慌



てていたのは、実はかめ仙人こと、この私でした。どう、場をつないだ方がよいのか、電源が復旧しないのなら、このまま何事もなかったかのよう

に終わった方がよいのか、本当に迷いました。願いが通じたのか、すぐに音楽が復旧して本当によかったです。保護者の皆様にもご心配をおかけしたことにお詫び申し上げます。でも、このアクシデントにも動揺せず、パプリカを踊り終え、たくさん種を植えることができた子供たちが一番立派でした。ご来賓の皆様からも同様のお褒めの言葉をいただきました。

「かけっこ」も子供たちはよく頑張りました。初めは「かけっこ」ゆえに、どうしても隣の友だちが気になって横を見ながら走ってしまうことが多かったのですが、当日は、真っ直ぐ前を見て一生懸命走る子供たちがとても多かったです。正に練習の成果と言えるでしょう。今回の合同運動会を通して、子供たちは大きく成長しました。あの大観衆の中で、走ったり、踊ったりできたのですから、本当に素晴らしいことです。あの大舞台で、堂々と演技・競技できた子供たちに改めて大きな拍手を送りたいです。

10月の親子運動会が今から楽しみです。

「遊びは学び」ということ

よく、幼稚園では「遊び」で教育すると言います。今回の運動会でも、子供たちには練習をするとは言いません。あくまでも「遊び」と言っています。子供にとっての遊びは、私たち大人にとっての趣味とかお楽しみとは異なり、「遊ぶこと」それ自体が「学び」です。「遊びは学び」とはよく言ったもので、遊びを通して好奇心を抱いたり、考えたり、コミュニケーションを学んだり、チャレンジしたり、また、社会のルールに気付いたり、遊びは子供の育ちにとってなくてはならない大切なプロセスなのです。本村幼稚園では、これからも子供の生きる力となるよい遊びをたくさん行っていきます。

